

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2023年2月20日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念CD発売!

第7回仙台国際音楽コンクール(2019年)の最高位受賞者のホールレコーディングCDが発売されました。新型コロナウイルスの影響による度重なる中止を経て、2年越しに収録が実現したCDです。2022年9月の最高位受賞記念リサイタルで演奏され、高い評価を受けた楽曲が収められた、それぞれの想いがつまった渾身の1枚を、ぜひお聴きください。

シャノン・リー Shannon LEE ヴァイオリン部門最高位(第2位)



FOCD9877

〔収録曲〕 ピアノ:ジェシカ・オズボーン

バルトーク:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Sz76

武満 徹:妖精の距離

イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5

リスト(ミルシュタイン編曲):コンソレーション(慰め) 第3番 変ニ長調 S172-3

エルンスト:シューベルトの「魔王」による大奇想曲 op.26

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100

ーCD収録曲についてお聞かせください。

CD収録曲・リサイタル演奏曲を選択するにあたって、聴く方がどんな曲に親しみを覚えてくださるか、変化にとんだ作品を選択すること、魅力的なコンサートの流れについて考えました。

その結果、狂騒的なバルトークから静謐なブラームスまで、物語のように曲を展開することになりました。『曙光』や『魔王』のように、わかりやすく表現されている場合もありますが、ほとんどは抽象的で、想像の余地を与えてくれるものです。その他の作品も、それぞれに理由があり、私にとって大きな意味を持っています。

また、デュオのパートナーとして、ジェシカ・オズボーンを迎えることができたのは、とても幸せなことでした。彼女は素晴らしい友人でありピアニストで、数年来私たちは自然な相乗効果を生み出してきました。彼女もこのレパートリーがとても気に入っていて、お互いにアイデアを出し合うことができたのは貴重な体験でした。

パンデミックによる混乱と延期の後、CD収録を実現できたことは、喜びであり、光栄です。関係者の皆さまのご尽力に感謝いたします。

ーコンクール以降の活動とコンクールから3年経った現在の状況についてお聞かせください。

コンクールの後、クリーブランド音楽院でハイメ・ラレードとヤン・マーク・スローマンの各先生のもとで研鑽を積み、カーネギーホールでラレード先生の指揮により、チャイコフスキーの協奏曲を演奏しました。ヴァージニアのハイフェッツ国際音楽院ではティーチングアシスタントを務め、8歳から師事していたスローマン先生が療養されている間は先生のスタジオで教えていました。現在、昨秋亡くなられたスローマン先生が書かれた「ヴァイオリニストと教師のための手引書」の出版に向けて、編集作業に参加しています。

また、昨秋アムステルダムに移り、大学院でヴァイオリンのヴェラ・ベス先生に師事しています。佐藤俊介先生のバロック・ヴァイオリンとウィレム・ジェス先生の作曲のレッスンも受けました。すべてがとても刺激的で、インスピレーションを与えてもらっています。

ーファンへのメッセージをお願いします。

ジェシカと一緒にこのプロジェクトを行うために仙台に到着したとき、美味しい食べ物だけでなく、ホストファミリーを含むコンクール出場時に会った人々や、そこにいる観客の驚くべき集中力にどれだけ懐かしさを感じたことでしょうか。多くの方が、芸術や伝統的な作品に対するひたむきさに敬意を払い、また彼ら自身の中にもそのひたむきさがあるのだと感じました。このことはとても励みになりますし、私自身の方向性にもつながるものです。

この録音から皆様が意味深い瞬間を見出してくだされば幸いです。私はこれからもヴァイオリンの演奏と音楽作りに励み、将来は日本で何度でも演奏できるような音楽家になりたいと思っています。



■お問い合わせ/公益財団法人 仙台市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

チェ・ヒョンロク CHOI Hyounglok ピアノ部門優勝



FOCD9878

〔収録曲〕

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

夜のガスパール

ショパン：24の前奏曲集 op.28

ーCD収録曲についてお聞かせください。

貴重な機会なので、ぜひ録音したいと思っているもの、自分にとって特別なプログラムだと思うものを厳選しました。私の本能的な音楽傾向を最も表現できるプログラムだと思います。

ラヴェルとショパンは、私の敬愛する作曲家であり、一生かけて弾き続けたい作曲家です。私には、ラヴェルのピアノソロ作品を全曲演奏するという目標があります。特に<夜のガスパール>は乗り越えなければならない大曲の一つだと考えています。<夜のガスパール>は音楽的にも技術的にも非常にレベルが高く、ピアニストなら一度は挑戦してみたいレパートリーだと思いますが、結論から言うと、この作品だけが持つ独特の雰囲気表現したかったのです。アロイジウス・ベルトランの詩をもとにした作品ですが、夜の不思議で暗い、ちょっと物悲しい感じが、描写的に描かれているのが実に印象的です。

ショパンの前奏曲は、40分というかなり長い呼吸を必要とする名曲です。感動の渦の中で果てしない集中力を感じ、自分自身がどれだけ音楽に没頭できるかを確かめたかったのです。そのため、とても神経を使う、難しい課題だったと思います。

快適な環境を作ってくださったフォンテックのエンジニア、スタッフの皆さんに心から感謝いたします。

ーコンクールから3年経った現在の状況と、コンクール以降の活動についてお聞かせください。

コンクールの後、ありがたいことにたくさんのチャンスがありました。日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団など、素晴らしいオーケストラと演奏することができました。

皆さん、パンデミックという大変な時期を過ごされていたと思います。

私は2021年に行われたワルシャワの第18回ショパン・コンクールを通じて、世界中のクラシック音楽ファンから注目されるようになりました。そのため、韓国、日本、ドイツで非常に優れたオーケストラやアンサンブルとのコンサートやリサイタルを数多く行い、韓国ではマスタークラスとして多くの学生を指導しました。

ーファンへのメッセージをお願いします。

このCDに収録されている楽曲は、私がベストを尽くした録音です。私の演奏でショパンとラヴェルの音楽をお楽しみいただければ幸いです。本当にありがとうございました。

定価：各2,640円(税込) (2023年2月8日発売)

販売元：株式会社フォンテック

取り扱い：全国のCDショップほか

制作：公益財団法人仙台市市民文化事業団

第8回仙台国際音楽コンクール優勝記念リサイタル 発売中!

第8回仙台国際音楽コンクール優勝記念リサイタルを仙台・東京で開催いたします。

チケットは2023年2月8日(水)より一般発売しています。詳細は公式サイトをご確認ください。

ヴァイオリン部門優勝 中野りな

【東京】2023年6月15日(木)

【仙台】2023年6月18日(日)

ピアノ部門優勝 ルウォ・ジャチン

【東京】2023年5月24日(水)

【仙台】2023年5月28日(日)



公式サイトQRコード